



2020.8.17

薬剤部だより

宮本病院薬剤部の仕事



調剤業務：入院・外来の調剤
外来は院内調剤です。



DI業務：
・外来患者さまへの服薬指導
・入院患者さまへの薬剤管理指導



院内各種委員会参加



医薬品安全使用の研修会開催
家族教室への参加

日本の精神疾患治療について

精神疾患により医療機関にかかっている患者数は、近年大幅に増加しており、2014年は392万人、2017年では400万人を超えています。

内訳としては、多いものからうつ病、統合失調症、不安障害、認知症などとなり、近年においては、うつ病や認知症などの著しい増加がみられます。

厚生労働省では、「がん」「脳卒中」「心臓病」「糖尿病」を「4大疾患」としていた医療計画に、2011年からは「精神疾患」を加え、「5大疾患」とする方針を示し、精神疾患に対策が強化されています。

精神科病院で取り扱う疾患の中で統合失調症という病気は、100人に1人弱がかかる比較的一般的な病気です。うつ・うつ病はおよそ75人に1人だといわれています。

厚生労働省HPより

ちなみに、2017年にがんと診断されたのはおよそ10万人、2018年にがんで死亡した患者はおよそ40万人とされていることから、精神疾患患者数の多さがわかります。

国立がん研究センターより

多くの精神疾患の治療では、薬物療法が大変重要な役割を果たします。精神科の治療は、薬物療法、精神療法、心理社会療法などがあり、患者さまの状況にあわせてこれらの両方を組み合わせることが効果的だと言われています。

薬物療法がしっかりとしていなくては、心理社会療法のさまざまなプログラムに参加することも難しくなります。症状をうまくコントロールし、よい状態を長く続けていくためには、患者さん自身が薬物療法について正しい知識を持つことがとても大切です。

薬剤師は、患者さまのお薬への理解を深めて、安全に服薬できるよう、薬剤管理・服薬指導を行っています。